

# 新商品が入荷しました！！

奥まった所も外せる段付タイプ登場！



## アネックス なめたネジはずしビット 段付タイプ



各サイズ  
**¥698**(税込)

従来品では外せなかった奥まった所にも対応できる細軸形状の段付タイプです。

+No.1 ~ +No.3 相当対応の3種類があります。

ご注意：下穴あけ用ドリルは付属しておりません。

### お客様の声 『ノト』 切断砥石エクスプローラー ALU 105ミリ』



ディスクグラインダーでアルミを切断する際に、一般鋼材やステンレス用を使うと切り口が焼けてしまうというお客様がいらっしゃいました。当店ではアルミ専用の切断砥石が在庫で置いてあり、この商品は焼きが少ないと好評を頂いております。また、一般鋼材やステンレス専用もあり、なるべく切り口をキレイにしたい方におすすめの商品です。



### ちよいメッセ

### 『インドカボチャ』

平尾 和重



間違えて植えてしまった「インドカボチャ」の収穫が終了いたしました。平均5キロのものが全部で12個。数年前にインターネットの販売サイトで購入したのですが、濃い緑の楕円型のカボチャでクリーム色の斑点があり、見た目がまるで怪獣の卵です。肝心の味ですが、水っぽくて甘味が少なく、煮物にしてもあまり美味しくないのが我が家ではスープなどにすることが多いです。本場インドでは大きくて食べきれないので、カット販売をしているそうです。このカボチャの収穫後の最大の悩みがその置き場所。物置に入れるスペースが無いので、今は自分の部屋の半分位を10個のカボチャが占領しております。早く消費して自分の居場所を確保せねばと家族に相談中の今日この頃です。

# ねもかな通信



No.113

令和2年  
12月号  
発行人  
根本金物  
〒960-8032  
福島市陣場町9-28

TEL 024-534-0962  
FAX 024-531-3024

### 優ライフ情報

今月のわいわいクラブも

お休みです。



### 年末年始の休日のご案内

令和2年12月29日(火) 〆  
令和3年1月5日(火) まで。  
〆年始営業は1月6日(水)からです。

### 『コロナから学んだこと』

第二弾 根本 勉

最近になってコロナウイルスの仕組みがだいぶ分かってきたようで、感染者の数は増えているものの日本の場合、外国と違い重傷者や死者の数はかなり押さえられているようです。しかしながらヨーロッパやアメリカなどでは感染者が現在でも万単位で増え始め、さらなるロックダウンも余儀なくされているようです。

日本政府はウイルスの戦いと経済活動との相反する事を同時に進めるといった難しい舵取りに迫られています。

ウイルスとの戦いと云えば、かつて今は亡き豊岡クリニックの豊岡健司先生にお世話になっていた頃を思い出します。

豊岡先生は内科医でありウイルスの専門家でもあります。独特の診断方法を用いて漢方薬を

駆使用する処方でした。その考え方はこうです。人の体の中では様々なウイルスが存在しておりますが同時に外部からの侵入も常々行われております。

それを人の持つ免疫力で防いでいることはご周知の通りですが、何らかの原因で防ぎきれなかった場合に発病に至るわけです。要するに免疫力を上げることが重要です。

具体的には、染色体のどの部分にどの様な種類のウイルスが付着しているかを探り、それに合った漢方薬を投与する処方です。つまり人の体に害を与えそうなウイルスを取り除けば免疫力に余計な負担をかけないので、はという考え方でしよう。

免疫力の負担を軽減すれば免疫力の持つ力をフルに発揮できるといふ考え方は、

おそらくコロナウイルスに関しても免疫力の高い若い方があ

まり重症化せず、免疫力の低い高齢者や基礎疾患をお持ちの方々は危険度が高まると云う事は上記の考え方に合致していると思えます。

これから寒さも本番の季節になってまいります。

温かい食事をとって身体を冷やさない様にすると、うがい・手洗い・マスク・特に手洗いの頻度を上げる事をお勧め致します。できるだけウイルスの侵入を防ぐことと体内に害を与えウイルスを排除できる身体づくりが大切でしょう。

年末年始は力せなど召されませぬよう心よりお祈り申し上げます。

### 『帰ってきたカマキリ』

平尾 和重



カマキリは卵から生まれると成長しながらその場所から離れていき、大人になると戻ってきてまたその周辺に卵を産む事が

多いようです。

雑誌でそんな記事を読んで、昨年の冬に子供が採ってきた卵をカマキリを周りで見たことがない畑において本当に戻ってくるかを実験してみました。春先に子カマキリを見かけ、はじめは気にかけていたのですが、夏頃には畑にカマキリは1匹も見かけなくなり、すっかり実験の事も忘れておりました。

ところが先日畑の片づけをしていましたら何とカマキリの卵が雑草の枯れ枝に付いているではありませんか。見つけたのは1個だけでしたが、もしかしたらここから生まれた子が戻ってきて卵を産んでくれたのかもしれない。偶然かもしれないが、親元を離れた子供が戻ってきてくれたようには嬉しい気持ちになりました。来年も戻ってきてくれると嬉しいですね。





# 金物屋さんの小部屋

## 『ダイエットは明日から?!』



根本 三枝子

「新蕎麦の季節がやってきました～」

美味しいそばが食べた～いと云う事でさっそく会津へ…。開店時間よりちょっと早めに行き待つことに。同じ考えの人がやはりいらっしゃるんですね！駐車場はすでにいっぱいになり諦めて帰られる方もおられました。

いざ開店、のれんをくぐるとそこには関所が（検温所）…。英語と中国語で何か言われましたが、さっぱり分かりません。「多分熱をはかって下さい！」と云う事でしょうか??? 蕎麦を食べるにも今どき英語や中国語が話せないと入店できないのでしょうか? まあ何とかテーブルに着くことができました。

さて次は注文のメニュー、予め決めておいたものを即注文いたしました。食事中皆さんは何を注文されるのかとキョロキョロしながら眺めていると、盃に徳利・枝豆、一人でお酒をゆっくりとたしなむ人、かと思えば何と富士山のような盛り蕎麦が店の中を行ったり来たり…。

「え～こんな量食べられるの???」っとこれには私もビックリ!!  
更にまたまたビックリ! 私の所にその富士山盛の蕎麦が運ばれてくるではありませんか! “え～こんなに食べられるの～”と思いきや主人はぺろりと平らげてしまいました。私は普通盛で美味しく頂きました。皆さんはどちらでしょうか?  
ダイエットは明日から…(´▽`\*)ㄉㄉ

## 『運転』



佐藤 信吾

休みの日に車で走行していた時の出来事です。

10メートルくらい先の歩行者用の信号が赤になり、車両用の信号も黄色から赤に変わるくらいのタイミングだったので減速し停止しようとしたらいきなり後続の車からクラクションが。その車は停止する私の車をもものすごいスピードで追い越して右折していきました（もちろんその車は赤信号の中進入。）

よほど急いでいたのか、元々そういう性格なのか分かりませんが世の中には少なからずそういう人がいるのだなと思いました。最近日は暮れるのも早くなりましたし、雪道の走行も増えますので運転には余裕を持ちたいものですね。



## 『土作り』

我彦 武大

土作りにはよく腐葉土や堆肥、化成肥料を使ったりすると思います。最近知った土作りに木炭を撒くというのをテレビでやっておりました。

炭には小さい穴が無数に空いているので、分解者である微生物が住むのに適しているそうです。微生物は地中の養分を植物の成長に最適なものにしていきます。なので、いい植物、作物をつくるには微生物は必要不可欠になります。似たようなもので「糞殻くん炭」というものがあります。木炭やくん炭の無数の穴が肥料や栄養、水分を吸収し、長く留めておくことが可能だそうです。また木炭はくん炭と違って重いので、風などで飛びにくいので、住宅街で風で散乱したり、ご近所さんや洗濯物が汚れる心配もありません。

来年の家庭菜園に取り入れてみようと思いました。



# 行け!ねもかな園芸部



とうとう今年最後の月になりました。レース参加者各人の大根の調子はいかがでしょう? 桜島大根の出身地と異なり、降雪もそれなりにある福島。寒くなってしまうので、大きく生長する為の期間が短くて小ぶりになってしまうようです。

ゴールは来年1月を予定しております。年越しの令和3年1月号の結果発表にご期待下さい!

共同印刷株式会社 鈴木 充男様



葉っぱは大きくなっていますが、果たして土の中はどんな状態なのか気になります。寒くなり陽も傾いてきて日照時間も短くなってきたので、日当たりの良いところへ移動させました。プランター栽培はこんな時は便利ですね。

根本 三枝子



木の下に空いている所に種をまいたら、何と色々な花の苗が生えて来るではありませんか?

あまりにも密集しすぎているため間引きをしなければならなくなりました。

はたして大きな大根になるのでしょうか

佐藤 信吾



だいぶ葉っぱが伸びてきましたが、大根と呼ぶには程遠く収穫までまだまだ時間がかかりそうです。とても優しい印刷会社の社長様よりアドバイスをいただき、葉っぱの虫喰い防止や防寒のために不織布でプランターを覆いました。最初は簡単に収穫できると考えていましたが、やはり福島の気候では難しいのでしょうか? もしかしたら収穫するより雪が降る方が早いかもしれません。

平尾 和重



先月と比較すると葉っぱが増えて大きくなってきていたのですが、肝心の下の部分がさっぱり大きくなりません。8月末の種まきから早3か月ほど経ちましたが直径10cm程度の太さです。全体の見た目はたんぼぼみに葉っぱが地面に這うような感じで明らかに普段目にする大根とは違っています。福島の気候でどこまで大きくなるかも気になりますが、そもそも美味しいのか? そちらの方が気になります(笑) ゴールまで残り1か月。

大根君が大器晩成であることを期待です!

我彦 武大



朝晩の気温が一桁になってから、成長が止まってしまったように感じます。すこしは実が膨らんできましたが、このままでは年末の収穫には間に合わないの、最終手段でトンネルをやってみようと思います。

※横から撮影してみました。矢印部分が大根です。